

令和4年7月27日

各位

第36回全国少年少女草サッカー大会  
会長 田辺 信宏  
実行委員長 西村 勉

### 第36回全国少年少女草サッカー大会の開催中止について

平素より全国少年少女草サッカー大会の開催にあたりましては、御理解・御協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当大会は、静岡市内の37の試合会場が地域の運営ボランティアによって支えられ、中学生が試合記録係、高校生が審判を務める大会です。また、参加の約2,600人の少年少女が市内外の宿泊施設で寝食をともにし、勝敗にかかわらず最終日まで試合を行う大会です。「未来を担うこどもたちのために」という理念に従い、コロナ禍の下でも上記のような大会の特徴を損なわないまま、今年こそは開催をという思いで実行委員会を中心に準備を進めてまいりました。

しかしながら、現在、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大が続いており、残念ながら以下の懸念を払拭するには至っておりません。

- ・静岡市を含む静岡県中部地域の病床使用率が7割を超え、陽性者が出た場合の受け入れが困難になる恐れ
- ・陽性者及び濃厚接触者が出た場合に宿泊施設等での隔離が困難であり、公共交通機関以外で県外に搬送する必要が生じて、その交通手段が確保できない恐れ
- ・中高生をふくむ運営ボランティアに感染が広がる恐れ
- ・地元チーム内で感染が拡大した場合、会場運営のボランティア体制が確保できない恐れ

これらのことから、参加チームの選手・スタッフの皆様、応援の皆様、会場運営担当の皆様など、多くの皆様の健康と安全を最優先に考え、大会直前となりましたが今年の開催は困難であると判断し、苦渋の決断ではありますが、大会の開催中止を決定いたしました。

大会を取り巻く状況を事情御賢察のうえ御理解を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

大会を楽しみにされていたサッカー少年少女の皆様、チーム関係者の皆様、並びに様々な準備を進められてきました関係の皆様に、誠に残念な報告となりますことを心からお詫び申し上げます。

全国少年少女草サッカー大会は、参加チームの皆様・市民・行政・事業者はじめ、多くの皆様に支えられこれまで開催をしてまいりました。新型コロナウイルス感染終息の先を見据え、来年度以降、これまでに以上に皆様方に愛され親しまれる大会となるよう、活動を継続してまいります。

引き続きの御支援・御協力の程をお願い申し上げますと共に、来夏の次回大会において笑顔でお会いできることを、心からお待ち申し上げます。